

令和元年度 決算報告



人口：74,097 人
世帯数：31,300 世帯
(R2.6.30 時点)

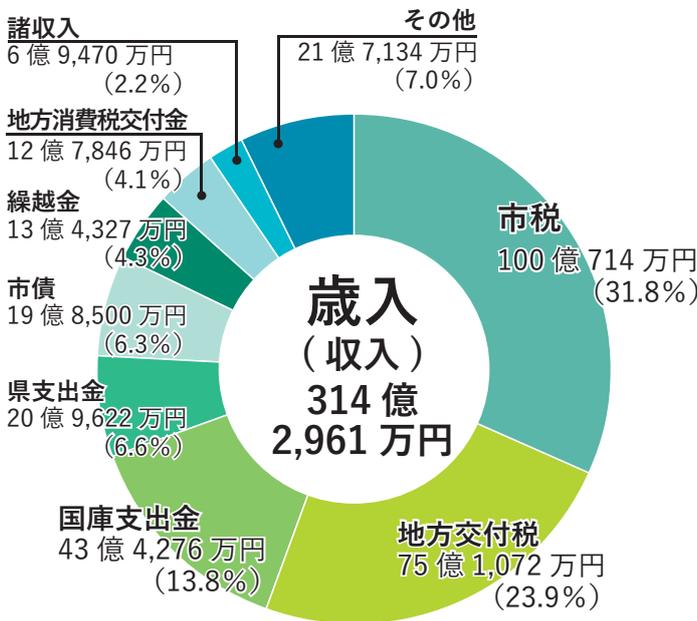
石岡市マスコットキャラクター
嗜みうさぎモモア (左)
満喫うさぎカイ (右)

令和元年度の決算報告 & 財政運営の健全度と
石岡市の財産と市債状況 (令和 2 年 6 月 30 日時点) についてお知らせします。

一般会計

市の基本的な行政運営を行うための会計 ※ () 内は総額に占める割合
歳入・歳出予算総額：340 億 5,491 万円

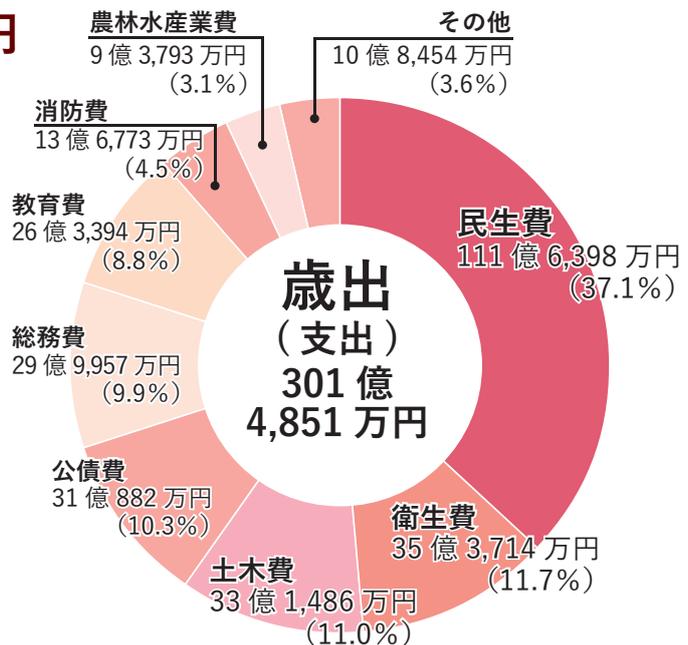
歳入総額：314 億 2,961 万円



【用語の解説】
市税…市に納められる税金
地方交付税…市の財政状況に応じて国から交付されるお金
国庫支出金…市が行う特定の事業に対して国が支出するお金
県支出金…市が行う特定の事業に対して県が支出するお金
市債…多額の費用が必要な場合などに行う市の借金
繰越金…平成 30 年度から繰り越されたお金
地方消費税交付金…県から市に配分される消費税
諸収入…市の預金利子や雑入など
その他…国が国税として徴収し、市に譲与されるお金など

歳出総額：301 億 4,851 万円

【用語の解説】
民生費…高齢者や児童、障害者の福祉の推進に
衛生費…健康で衛生的な生活環境の充実に
土木費…道路や公園など公共施設の整備などに
公債費…借りたお金の返済に
総務費…自治振興、企画・立案や、選挙に
教育費…学校教育や図書館の充実、文化・スポーツの振興などに
消防費…消防や救急業務・防災対策に
農林水産費…農業や林業などの振興に
その他…商業の振興や議会の運営などに



特別会計

市が特定の事業を行うための会計

〔会計別予算と執行額〕

国民健康保険	78億1,452万円 (95.9%)
81億4,455万円	76億4,714万円 (93.9%)
介護保険	71億6,029万円 (95.6%)
74億9,296万円	69億4,482万円 (92.7%)
下水道事業	22億7,635万円 (94.4%)
24億1,124万円	22億2,392万円 (92.2%)
後期高齢者医療	8億4,715万円 (97.7%)
8億6,696万円	8億4,493万円 (97.5%)
農業集落排水事業	3億2,857万円 (96.5%)
3億4,055万円	3億2,152万円 (94.4%)
介護サービス事業	2億7,520万円 (88.0%)
3億1,274万円	2億7,520万円 (88.0%)
駐車場	2,917万円 (98.3%)
2,966万円	2,866万円 (96.6%)
霊園事業	1,905万円 (99.2%)
1,920万円	1,777万円 (92.6%)

特別会計名 上段 収入済額（収入率）
 予算額 下段 支出済額（執行率）

令和2年度から下水道事業会計と農業集落排水事業会計は企業会計に移行します！



企業会計

民間企業のように収益によって運営を行うための会計です

【水道事業】

八郷地区の水道施設の管理運営

収益的収支

収入：5億7,680万円 5億7,233万円 (99.2%)

支出：5億4,960万円 5億2,664万円 (95.8%)

資本的収支

収入：1億9,392万円 9,779万円 (50.4%)

支出：3億855万円 2億2,545万円 (73.1%)

【用語の解説】

収益的収支…管理運営のためのお金

資本的収支…施設の整備・改修のためのお金

令和元年度の石岡市の財政状況は…

健全な状態であると判断することができます。

平成19年に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が公布され、市の財政状況を4つの指標で表すことになりました。

令和元年度決算に基づく石岡市の指標は昨年度に引き続き、健全な状況を示す数値となりました。健全といえる理由については次のページをご覧ください✓



石岡市マスコットキャラクター
いしおか恋瀬姫

石岡市の財政状況は

どうして**健全**と言えるの？

■ 財政の健全化を判断する4つの指標（＝健全化判断比率）

早期健全化基準は、地方債の借入れが制限されたり、国から予算変更などの勧告を受けるレッドゾーン手前のイエローゾーンを指します。

指標	内容	結果	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし (マイナス5.76%)	12.59%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし (マイナス10.95%)	17.59%
実質公債費比率	市の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合	8.4%	25.0%
将来負担比率	市の平均的な年間収入に対する将来負担が見込まれる負債(借金)の割合	37.4%	350%

健全化判断比率のミカタ



Point1：2つの赤字比率「なし」

普通会計の赤字額を示す「実質赤字比率」と特別会計を合わせた全会計の赤字額を示す「連結実質赤字比率」は、上表の通り、どちらもマイナスを示しています。よって、30年度に引き続き健全な状態であるといえます。

Point2：実質公債費比率が基準を超えていない

平均的な年間収入に対する借金返済額の割合を示す実質公債費比率は8.4%(上表参照)でした。言い換えると「石岡市の一般的な財源のうち8.4%を借入れの返済に充てた」ということです。これは、30年度の8.7%と比較して改善されています。

ここを Check：今後公債費は増える予想。楽観視はできない

実質公債費比率は早期健全化基準を下回りましたが、今後、上曽トンネル整備事業や新広域ごみ処理施設建設事業などにより、公債費が増加していくことが予想されます。また、人件費や扶助費など継続的に支出する経費も92.2%という高い割合を占めています。このような理由から、今回の数字は楽観視できるものではなく、引き続き経費の削減に向け努力が必要です。



▲新広域ごみ処理施設（完成イメージ）

Point3：借入れ等の将来負担は一般財源の約0.4年分

長く使用する施設の整備費用は、世代間の費用負担の不平等をなくし、次の世代にも負担してもらうよう地方債を借りて事業を行っています。

将来負担比率とは「市が将来負担することが見込まれる借入れなどの総額」を「平均的な年間収入」で割り返した数値で、高いほど財政が圧迫されていることを意味します。

令和元年度は37.4%と、昨年度に比べて、地方債の現在高が減少したため、1%減少しました。

令和2年度石岡市の

財産と市債

(6月30日現在)



◀石岡市役所新庁舎

平成30年12月に竣工し、平成31年1月に供用を開始。東日本大震災の経験を教訓に、免震装置を設置するなど、防災拠点としての機能を整備しています。また、太陽熱や地中熱などの再生可能エネルギーを利用したシステムを採用しています。

■市の財産

財産とは…

家計に例えると、貯金や持ち家のことをいいます。市にとって財産は、市役所庁舎・小中学校・公民館などです。

1年前と比較すると…

市が所有している資産を1年前と比較すると、土地・建物の面積が増加しました(15,006.55㎡増)。土地については、消防署の愛郷橋出張所建設のために用地を取得したことによります。建物については、新庁舎完成に伴い増加しました。基金の減少(2億4,461万円減)は、庁舎整備基金と財政調整基金の取り崩しによるものです。

土地	1,987,530.07㎡
建物	263,333.00㎡
基金	117億7,245万円
有価証券・出資金など	4億536万円

※基金

市の預金。各年度の財源を調整するための財政調整基金や、将来の大きな支出に備えて積み立てる特定目的基金など。

※出資金・有価証券

主に公営企業(水道事業会計)や、市と民間が共同で設立した事業体(第3セクターなど)へ出資したお金。

■市債残高

市債とは…

家計に例えると、住宅ローンなどの長期借入金のことをいいます。

主に道路の整備や学校の建設など大型施設を、建設・整備するときにご利用します。これらの資産は多額の建設費用がかかりますが、数十年にわたり世代を超えて長く市民に利用されます。ですので、現在利用している市民だけでなく、次の世代にも公平に費用を負担してもらい、という意味で借入れをし、長期間にわたり計画的に返済しています。

1年前と比較すると…

市債の残高を1年前と比較すると、18億1,441万円減少しています。これは新庁舎建設のための市債の発行が前年度と比較し減少したためです。

一般会計	293億1,315万円
公共下水道事業	132億6,353万円
農業集落排水事業	18億7,519万円
介護サービス事業	955万円
水道事業	13億7,373万円
合計	458億3,515万円

市民1人当たりの資産・負債 (R2.6.30時点)

(資産)

土地	26.82㎡
建物	3.55㎡
基金	15万8,879円
有価証券・出資金など	5,471円

(負債)

市債	61万8,583円
----	-----------